

## あなたのまちのアクティブシニア

### 「新城ふるさと先生グループ」(垂水市)

新城地区は、垂水市の南部・鹿屋市に向かう国道沿いに位置し、東は高隈山を背に、西は錦江湾に面した風光明媚な地で、子どもの教育には、大変熱心なところがあります。

「新城ふるさと先生グループ」は、平成2年4月に新城小学校に文化財少年団が結成されたことを契機として、地区公民館内に組織されました。

子どもと高齢者とのふれ合いを通じて、地域の活性化や教育環境を整備すること、また、高齢者の健康増進を目的として、現在、メンバー30人が活動しています。

この活動は、地区の高齢者が「ふるさと先生」として、先人たちが築いてきた新城地区の伝統や習慣・食文化を子どもたちに教え、ふるさとの良さと誇りを持たせるための取り組みです。

主な活動に、地区内の文化財巡りや地域に伝わる伝統芸能の「鎌ん手踊り」があります。この踊りは五穀豊穡のお祝いの踊りと伝えられており、20〜21人の少年団員に教えて、伝統



<代表者> 上田 正輝  
<連絡先> 垂水市新城地区公民館  
☎ 0994-35-3619

芸能の継承に努めています。

また、子どもに受け継がれてきた5月節句の「馬追い」や7月の六月灯など季節ごとの行事も行っています。

次に、食文化の継承としての農業体験があります。小学生と高齢者による、玉ネギ、落花生の作付けやもち米作りです。この収穫した農産物を小学校給食の材料へ活用したり、高齢者との食事会に利用しています。

また、もち米作りは、田植え、稲刈り等を小学生に体験させ、年末には、収穫したもち米を使って、高齢者との「ふれあいもちつき大会」を実施しています。

さらに、小学校の入学式や卒業式に参加して、世代間交流を図り、新城ポランティア同好会と連携した地域の清掃活動やアジサイの花の植付などにも取り組んでいます。

今後、子どもから高齢者まで、安心して生活できる環境の整備と、伝統の継承に努めてまいります。

### 令和3年度 エイジレス章受章者紹介 (内閣府 エイジレス・ライフ実践事例)

○新納 美壽さん(大島郡知名町・73歳)

エイジレス章受章・伝達式の開催

大島郡知名町在住の新納美壽さんに、内閣府から「エイジレス章」が授与されました。

この章は、内閣府の提唱するエイジレス・ライフ(年齢にとらわれず自らの責任と能力において自由で生き生きとした生活を送ること)を実践し模範となる方に授与されるものです。

令和3年11月2日に、県大島支庁沖永良部事務所、新納さんへ受章伝達式があり、椋山良文所長から「エイジレス章」の書状と記念の楯が贈呈されました。

#### エイジレス・ライフの概要

新納さんは、長年保育士として勤め、定年後に当時住んでいた大坂で介護予防運動指導員の資格を取得されました。

現在、地区の高齢者への運動指導や島内の施設への慰問を行い、体力アップや体力維持のための指導を行っています。季節に合わせた童謡を歌いながら体操に取り組むほか、しりとりや暗算などの脳トレを行い、身体だけでなく、脳の活性化も行っています。

体操後、毎回一人一人と必ず握手し、「ありがとう」と声かけをされます。利用者からは、「楽しく運動ができ、元気が出た」と、笑顔が見られ、大変喜ばれています。

新納さんは、「こちらも毎回高齢者の方から、元気・笑顔・知識を頂いている」と話され、充実したエイジレス・ライフを送っております。



このコーナーではすこやか長寿社会運動を実践され、いきいきと社会参加されている団体・個人を紹介しています。